

YIA 会員だより 2017年8月号

発行 ; 吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

ホームページURL <http://www.teu.or.jp/kamojima/yia/>



新ALT歓迎会

日時:8月24日(木曜日)19時～
場所:みつなり(鴨島町内原203-3)

◆英会話教室

ネイティブスピーカーとしゃべってみましょう!

☆鴨島教室 毎週木曜日19:00～21:00

初心者クラス・中級者クラス

講師:ミシェルさん・ヌーさん(新ALT)
文化研修センター2F.

☆山川教室 毎週火曜日19:00～21:00

初心者クラス19:00～19:30

山川公民館 講師:タマラさん

☆川島教室 毎週水曜日19:00～21:00

初心者クラス19:00～20:00

川島東公民館、講師:ジョンさん

8月度 定例活動/他

◆日本語教室

【村上教室】(TEL 0883-24-8018)

<鴨島 文化研修センター>

毎週日曜日 13:30～15:30(初級日本語講習)

講師:村上さん、萩森さん、白岡さん、井口さん、市原さん

毎週金曜日 17:00～19:00 中級(N2レベル)

19:00～21:00(職業日本語講習)

【手塚教室】(TEL 0883-24-1284)

<市場町コミュニティセンター>

毎週日曜日 10:00～12:00

<高川原公民館>

毎週日曜日 13:30～15:30

阿波おどり 国際交流連

日時:8月15日(火曜日)19時～
場所:鴨島町駅前通り
飛び入り参加歓迎!

【7月の活動報告】

◆日本語教室 書道ワークショップ 報告 横山美津子

7月2日(日)の午後、日本語教室に書道家の吉野美苑さんを講師にお迎えしワークショップを開催した。参加者は、ベトナム人7名、タイ人2名、国際交流メンバーが8名で計17名。ワークショップは、まず書道の基本的な書き

方の指導を受け、次に見本の中の好きな漢字を各自が選び練習し、最後に清書して提出するという流れであった。昨年、実は、このワークショップ参加にあまり乗り気ではなかった。外国人が本当に興味をもってやるのだろうか疑問に思っていたからだ。ところが実際に参加してみると予想に反して、皆なんと楽しそうに書いていること! ニコニコしながら何枚も何枚も。思わず私も練習に参加し、最後には清書し提出までできた。上手には書けなかったけど、私自身もすがすがしい思いが残った。そして、この外国人たちが日本での滞在の中で、今日のことはきっといい思い出になると確信できた一日だった。今年は、絶対に参加したいと前々から心待ちにしていた。外国人実習生の楽しそうな顔を見たかったし、彼らを応援する日本人がここにもいることを態度で示したかったから。お忙しい中、温かくご指導していただいた吉野先生に参加者一同感謝申し上げます。



◆ ALT 送別会を7月13日(木)開催

“ステイシー先生、お元気で” 喜島 成幸

ステイシー先生はアメリカの49番目の州アラスカ出身だ。アラスカのこと星野道夫の「ノーザンライツ」という本で興味を持った。歓迎会で聞くと、ステイシー先生は彼の存在は知らないようだったがオーロラは見たことがあると当然のごとく話してくれた。

ステイシー先生の授業は、我々のスピーチから始まることが多かった。休日の予定や趣味などその日の「お題」が指定され、数分間で文章をまとめて発表する。僕の拙いイングリッシュもにこにこ笑いながら聞いてくれた。英語力よりもステイシー先生の想像力で理解された部分が多かったのではないかと思う。リスニングの力をつけたいという希望に応えて、ステイシー先生が英文を読み、その後に文章から内容に関する問題を出されることもあった。問題が出されることにより漫然と聞くことができなくなる。耳をそばだてて聞き4問くらいの発問に対応した。クイズ形式の単語当てクイズも楽しかった。

ステイシー先生は今後アラスカに帰られるという。ママとグラマを尊敬されているというので一緒に暮らすことが幸せだと思う。そして時々、日本を、吉野川市を思いだしてほしい。



◆ 通訳報告 横山美津子

7月は、結構忙しいスケジュールだった。アメリカから芸術家兼芸術大学講師のDaniel先生が



6/28から7/14まで、大学のサバティカル休暇(研究休暇)を利用して作品作りに来日。クロアチア人の女性2人が、和紙の調査に7/8から7/13まで。7/9から7/11までは韓国生まれでアメリカ人Jungの家族(夫婦と子供二人)が、8月に中国人の芸術家や香港のロックフェラー財団のスタッフを迎えるための準備に来日。国際交流協会のメンバーは、和紙会館からの依頼のもと手分けし通訳を担当した。

こんな風を書くときすごいことをしているように見えるが、和紙会館には手加減をしていただいている。実際、専門的なことはよくわからないことがあるが、それは理事長やスタッフがフォローしてくださる。だから、本音を言うとプレゼンテーションの通訳をするときは少々つらい。分かってないことがばれてしまうからだ。(笑) 和紙会館に来る外国人の人数が増えているし、国も増えている。たぶん外国のマーケティングがうまくいっているのだろう。私たちがここまでやっているのは、いろいろな国の人との出会いや、全然わからなかった和紙作りや芸術にどういわけか関心が出て、結構楽しんでるからだ。もっと仲間を増やせたらいいなと願っています。

◆ 日本語教室 講師 手塚 功

市場教室には、技能実習生の他に中国人の中学生が来ています。この生徒については4月に私の知り合いの中国人から依頼があり、また5月には中学校の担当の先生から中国語のできる人が日本語を教えるに学校に来てほしいとの依頼があり指導することになりました。

先生によれば、「母国で日本語をまったく勉強してこなかった中国人生徒が新規に入学し、学校でのコミュニケーションができず困っている。また学校と家庭との連絡事項も伝わらず、学校に来て教えて欲しい」とのことでした。しかし、私は時間的に余裕がなく、私が教えている市場教室に来れば日本語指導ができると提案したところ教室へ来るようになりました。指導開始後、担当の先生も2回程教室に来られ、母親も毎週1時間ぐらい教室に来て日本語を勉強するようになりました。この生徒は日本語の生活言語の習得が最優先されるため、中国語を使いながら特別メニューで指導しています。授業を通じて成果も諸所に現れてきており、明るい希望が持てるようになりました。もう少しすれば日本語だけの指導が可能になると思います。彼も今は大変だと思いますが早く話せるように支援したいと思います。

◆ ホームステイ受け入れ

市原百合子

クロアチアの女学生

7月8日から3泊、二人のクロアチア人女学生・テアとマリナのホームステイを受け入れました。2人はインドネシアで、当地の紙に描いた伝統芸術ワヤン・ベベルという絵巻物芝居に関する研究をしています。その研究途上で同じく楮を使った日本の和紙と太布を知る機会があり、徳島へ来ました。研究に関して和紙会館でプレゼンテーションをしたので、機会があればご紹介したいと思います。

和紙については阿波和紙会館で体験、太布については那賀郡那賀町木頭にある『阿波太布製造技法保存伝承会』を見学しました。いずれも同行し、私にとってもいい経験になりました。

生活面では、ひとりがベジタリアンという事で、初めはちょっと戸惑いましたが、やってみると案外簡単でした。それにしても、ベジタリアンで身長が2mにも成長するとは信じられないことでした。太布伝承館は火曜日のみ開館なので、和紙会館の閉館日の月曜日は大川原高原へ、見頃だというアジサイを見に行きました。

そして最後の夜は、二人が材料を買いそろえ、夕食を作ってくれました。アスパラガスやポテト、玉ねぎなどを使った野菜料理とサラダ、そしてデザートはクレープでした。とてもおいしく、食べるのと会話に夢中で写真を撮るのを忘れたのが残念です。



太布糸縫り体験



手作り和紙体験

◆ 鴨島英会話教室 新ALTの出迎え

名前: Vang Nou Samantha (USA)

7月26日、ヌーさんを空港に出迎えました。ヌーさんの笑顔から、他所の国で新しい未来に向かって行こうとする若者の夢や希望を感じ、うれしく、また羨ましいとも思いました。

8月から、ミシェルさんヌーさんの二人体制で英会話教室が更に充実することを期待しています。 浅野充代

